

ラッセル・インベストメント・グローバル・バランス
安定型/安定成長型/成長型 追加型投信/内外/複合資産



愛称:

ライフポイント®

リスクを分散し、安定的な資産形成の
実現をサポートします。

始めよう、豊かな未来のために

販売用資料

2026年2月

russellinvestments.com/jp

ラッセル・インベストメントは1936年創立の 米国シアトルを本拠地とする歴史ある運用会社です

マルチ・マネージャー運用のパイオニア

マルチ・マネージャー運用とは、ラッセル・インベストメントが世界トップクラスと認めた複数の運用会社を厳選し、それらをバランス良く組み合わせるとともに、必要に応じて運用会社を入れ替える、という3つのステップから成る運用手法です。それは、例えばアメリカのプロ野球「メジャーリーグ」が世界中から一流の選手を獲得し、最強のチームを結成するプロセスに似ています。



ステップ 1

世界中から優れた選手を選抜

超過リターンを期待できる運用会社を約11,200*の運用プロダクトの中から調査・発掘

*2025年9月末時点。伝統的資産のみ。



ステップ 2

バランスのとれたチームを編成

各分野で優れた運用会社を最適に組み合わせてポートフォリオを構築



ステップ 3

チームを常にベストな状態に維持

高度なモニタリングとリスク管理を行い、必要に応じて運用会社を入れ替え

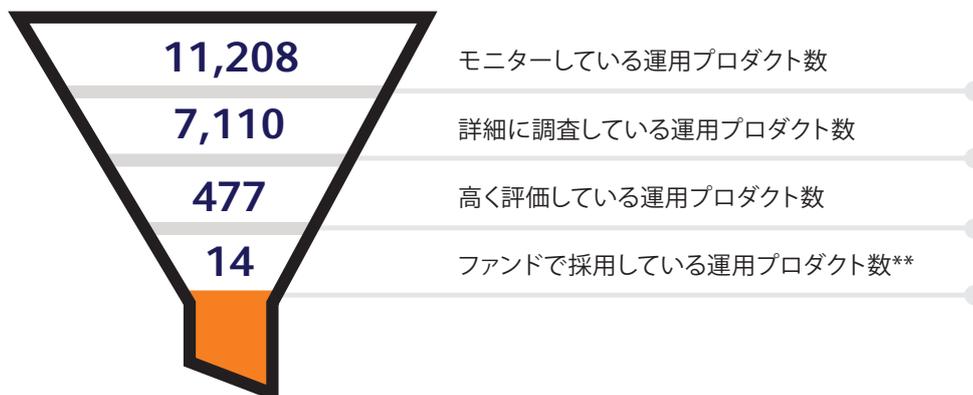
世界の大手機関投資家も実践している国際分散投資アプローチを個人投資家の皆様に

ラッセル・インベストメント・グローバル・バランス 「愛称:ライフポイント」の特徴

1 特徴 世界中から厳選された 運用会社を結集

- 世界各地に配した運用会社調査アナリストが世界で約11,200*の運用プロダクトを綿密に調査・分析し、高い運用成果が期待できる運用会社を厳選します。
- 得意とする分野が異なる優れた運用会社をバランス良く組み合わせてファンド全体を構築します。
- 運用会社の運用能力が低下したり、より優れた運用会社を発掘した場合には、ファンドの中で運用会社を入れ替えることで最適な状態を維持します。

運用会社調査網

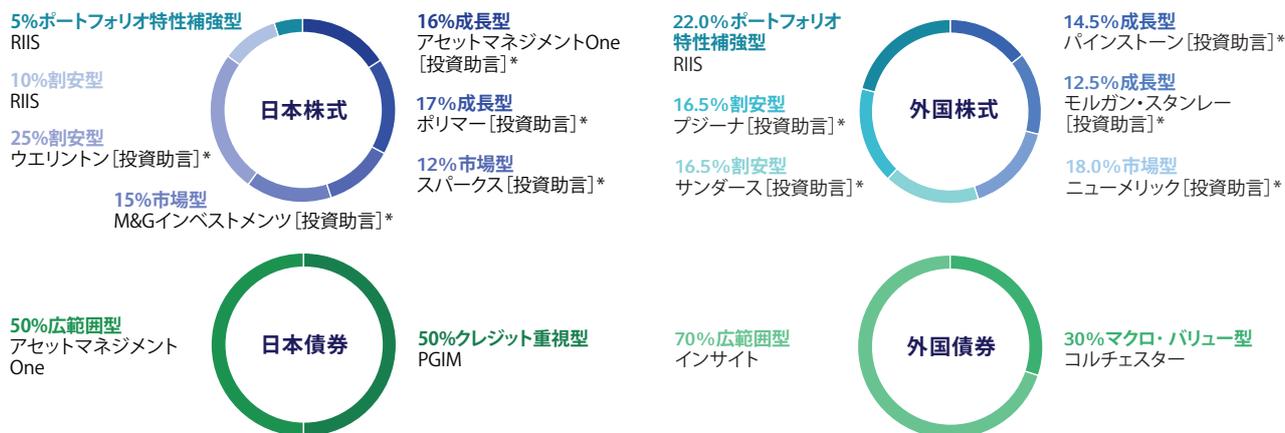


*2025年9月末時点、グループ合算、伝統的資産のみ。

**当社のグループ会社である「ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズ・エル・エル・シー」(RIIS)を除きます。

注:運用プロダクト数は個々の運用会社の運用手法を指し、運用会社によっては複数有しているところもあります。

ライフポイントは、日本株式、外国株式、日本債券および外国債券の各マザーファンドを主要投資対象としています。各マザーファンドでは、得意分野が異なる優れた運用会社を組み合わせ、リスクを分散し、運用効率の高いポートフォリオを構築しています。



2026年2月18日時点

*各運用会社の投資助言に基づき、「ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシズ・エル・エル・シー」(RIIS)が運用の指図を行います。上記は、ファミリーファンド方式により運用する各ファンドが主要投資対象とする「ラッセル・インベストメント日本株式マザーファンド」、「ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド」、「ラッセル・インベストメント日本債券マザーファンド」、「ラッセル・インベストメント外国債券マザーファンド」(以下「マザーファンド」といいます。)に関するものです。マザーファンドには直接投資できません。マザーファンドは運用報酬がかかります。運用会社や目標配分割合の変更は、原則として事前の告知なく随時行います。

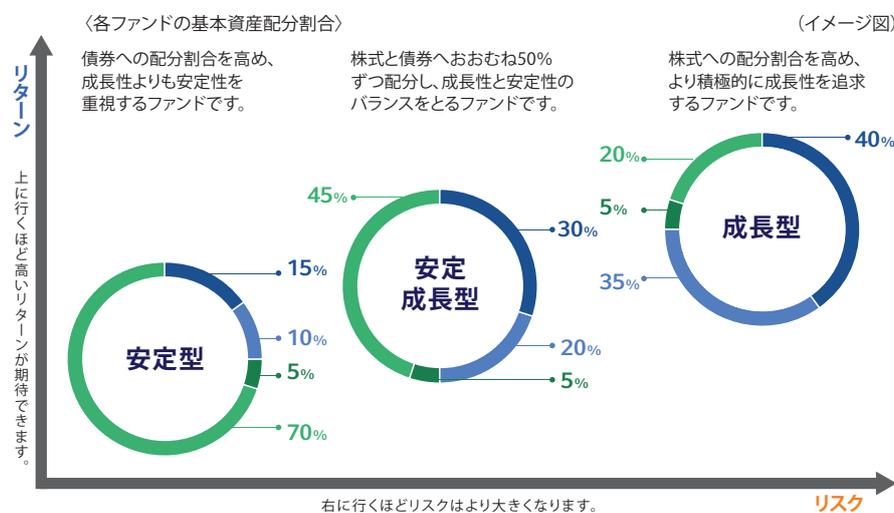
2 特徴

独自推計した期待リターンおよびリスクを用いた透明性が高くリスク管理された資産配分戦略

- 資産運用のコア(中核)となるべき、世界の先進国の株式と債券を主な投資対象とし、新興国の株式や債券、リート等については投資妙味が高いと判断される場合のみ投資します。
- 各資産への基本配分割合は中長期的な資本市場分析から策定します。
- また、運用環境の見通し等の大きな変更が必要と判断する場合には、一定の範囲内(±10%)で基本資産配分割合と異なる割合で投資し、世界経済や資本市場の変化に対応します。

3 特徴

投資家の皆様の投資目的等に応じて、リスク/リターン特性の異なる3つのファンドからお選びいただけます



4つの基本資産(日本株式/外国株式/日本債券/外国債券)は、それぞれマザーファンドで運用されており、純資産額の合計は約1,876億円(2025年12月末時点)となっています。

注:上記の図は、各ファンドの基本資産配分割合とリスク・リターンの関係を示したイメージ図であり、将来の運用成果等を示唆、保証するものではありません。資金動向、市況動向等により、上記のような運用ができない場合があります。

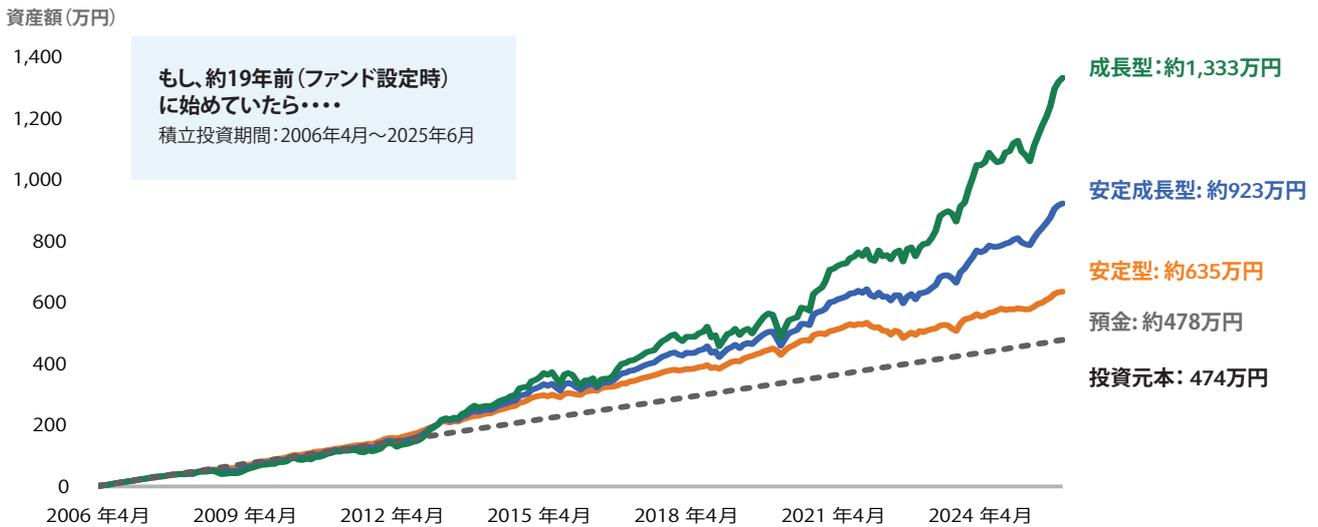
日本株式 外国株式 日本債券 外国債券 (為替ヘッジあり)

長期に亘って運用効率の高い良好な過去の運用実績

	安定型			安定成長型			成長型		
	3年(年率)	5年(年率)	10年(年率)	3年(年率)	5年(年率)	10年(年率)	3年(年率)	5年(年率)	10年(年率)
トータル・リターン	4.14%	0.40%	2.05%	11.18%	6.45%	5.76%	18.26%	12.72%	9.41%
標準偏差	4.46%	5.04%	4.68%	5.58%	6.39%	7.29%	7.99%	8.80%	10.78%
シャープレシオ	0.89	0.06	0.43	1.97	1.00	0.79	2.27	1.44	0.87

2025年12月末時点。上記の数値は信託報酬控除後のものです。
運用成果は過去の実績であり、将来の成果をお約束するものではありません。

各ファンドに毎月2万円を積立投資した場合の資産額の推移



出所:日本銀行のデータを元にラッセル・インベストメント作成

注:上記は一定の仮定に基づくものであり、その結果の確実性を表明するものではありません。

注:各ファンドの設定月である2006年4月から2025年12月までの236カ月間において、各ファンドおよび預金に毎月月末に2万円投資した場合の資産額の推移。各ファンドの信託報酬は控除後、販売手数料はなしと仮定(上限方式で販売会社が定めるため)。なお、当該期間において収益分配金の支払いは行っておりません。預金金利は日本銀行が公表する「1か月以上2か月未満/預入金額3百万円未満」の定期預金金利と仮定。

ラッセル・インベストメント 総合的な資産運用サービス・プロバイダー

- ・ 創立は1936年、日本には1986年に拠点を開設
- ・ 米国ワシントン州シアトルを本拠地とし、世界各地に17拠点を展開
- ・ 年金コンサルティング会社としての機能も活用し、個人投資家、金融機関、年金基金など様々な投資家の皆様を対象に、総合的な資産運用ソリューションを提供しています。

コンサルティング

“ソリューション”の提供

資産運用

A / 運用会社調査

11,208
モニターしている
運用プロダクト数
(伝統的資産のみ)

E / ポートフォリオ執行

約11兆円
システムティック
戦略運用資産



B / 資本市場調査

約139兆円*
グローバル・コンサル
ティング対象資産

C / カスタマイズド・ポートフォリオ・ソリューション

約346兆円**
2024年取引額実績

D / 運用資産

約55兆円
グローバル運用受託資産

2025年9月末時点(2025年9月末のWMロイターの為替レート147.68円/米ドルにて円換算)

*2025年6月末時点(2025年6月末のWMロイターの為替レート144.44円/米ドルにて円換算)

**2024年12月末時点(2024年12月末のWMロイターの為替レート157.16円/米ドルにて円換算)

出所:ラッセル・インベストメント

お申込みはこちらから

ラッセル・インベストメント・グローバル・バランス (愛称:ライフポイント)



- ・ 4つの資産(日本株式、外国株式、日本債券、外国債券)に分散投資します。
- ・ 2頁記載の各マザーファンドを主要投資対象とし、ファミリーファンド方式で運用します。
- ・ 投資目的に応じて、各資産への投資割合の異なる3つのファンドから選べます。
- ・ 各ファンドの詳細はQRコードからご覧ください。

ファンドの費用

ラッセル・インベストメント・グローバル・バランス 安定型/安定成長型/成長型

愛称:ライフポイント

<お客様が直接的に負担する費用>

購入時手数料 :2.20% (税抜2.00%) を上限として販売会社が定める手数料率とします。

信託財産留保額 :ありません。

<お客様が間接的に負担する費用>

運用管理費用(信託報酬) :各ファンドの日々の純資産総額に対して以下の率(年)を乗じて得た額とします。

安定型	安定成長型	成長型
1.232%	1.254%	1.287%
(税抜1.12%)	(税抜1.14%)	(税抜1.17%)

(注) 各ファンドおよび各マザーファンドで運用の指図にかかる権限を委託している各外部委託運用会社への報酬額は、委託会社が受ける報酬から支払われます。また、投資助言会社への報酬額は、その助言に基づき運用を行う外部委託先運用会社が受ける報酬から支払われます。

その他の費用・手数料 :組入価証券の売買時の売買委託手数料、先物・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等が各ファンドから支払われます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限等を示すことができません。

(注) 各ファンドの費用(手数料等)の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

投資目標に応じ3つのファンドからお選びいただけます。



安定型

低金利の預貯金に不満を感じている方の第一歩としておすすめです。



安定成長型

資産も増やしたいけど大きな損失も避けたい方におすすめです。



成長型

リスクは覚悟の上で、長期的に資産を大きく増やしたい方におすすめです。

3つのうちのどのファンドが合うのかわからない方は、「資産形成スタイル自己診断テスト」で運用に対するあなたの適性(スタイル)を診断することができます。

あなたにあった資産配分がわかる! 資産形成スタイル自己診断テスト

運用に対するあなたの適性(スタイル)を診断します。10の質問に対し、3つの選択肢から、ご自分の意見に最も近いと思う答えを選択してください。それぞれの答えの数字を合計した点数が、あなたのスコアになります。

1. 何年ぐらい投資する予定ですか?

5年以内 (1点) 5-10年 (2点) 10年以上 (3点)

2. 将来どのような生活をしたいですか?

日々の生活が
できればよい (1点) わからない (2点) 趣味・旅行など
にもお金が使える
ゆとりが欲しい (3点)

3. 将来、年金だけで生活できると思いますか?

十分だと思う (1点) わからない (2点) 足りないと感じている (3点)

4. 将来に向けた準備は、預貯金だけで十分だと思いますか?

十分だと思う (1点) 不安に
感じている (2点) 足りないと感じている (3点)

5. 安全第一でお金を貯めたいですか?

安全が第一だ (1点) どちらとも
いえない (2点) 安全よりも高い
利回りを狙いたい (3点)

6. 資産を増やすためなら短期的な損失を我慢できますか?

我慢できない (1点) わからない (2点) 我慢できる (3点)

7. 資産を増やすためならより高い収益を追求したいですか?

収益性よりも
安全性を重視したい (1点) ほどほどが良い (2点) より高い収益を
追求したい (3点)

8. 高い収益が期待できるものだけに集中して投資したいですか?

集中するのは怖い
ので分散すべき (1点) どちらともい
えない (2点) 高い収益が期待で
きるなら全ての
お金を集中すべき (3点)

9. 投資予定期間中にまとまった出費の予定はありますか?

ありそう (1点) わからない (2点) なさそう (3点)

10. これまでに預貯金以外に運用経験はありますか?

なし-3年 (1点) 3-10年 (2点) 10年以上 (3点)

1点 × コ = 点 2点 × コ = 点 3点 × コ = 点 合計 点

自己診断テスト結果

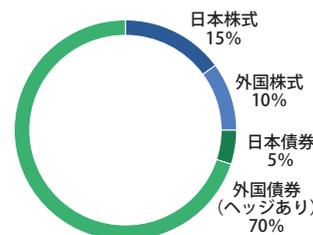


10-12点 元本重視型

ちょっとでも元本割れすることが我慢できないあなた。お金のことを心配するのはストレスがたまります。安全第一でお金を貯めるには、預貯金やそれに近い運用をする元本重視型の資産配分がおすすめです。収益性よりも元本割れを避けるため、安全性の高い資産のみで構成される資産配分です。

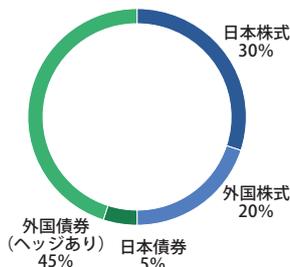
13-16点 安定型

低金利の預貯金に不満を感じながらも一步を踏み出せないあなた。その一步を踏み出さなければ何も始まりません。まずは安定型の資産配分がおすすめです。債券への配分割合を高め、成長性よりも安定性を重視する資産配分です。



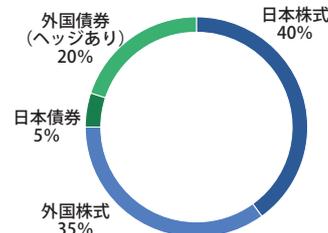
17-23点 安定成長型

資産も増やしたいけど大きな損失も避けたい欲張りなあなた。大きなリスクをとらずに大きなリターンを得るなんてそんなうまい話はありませんが、攻めと守りのバランスの良い運用をする安定成長型の資産配分がおすすめです。株式と債券に概ね50%ずつ配分して、成長性と安定性のバランスをとる資産配分です。

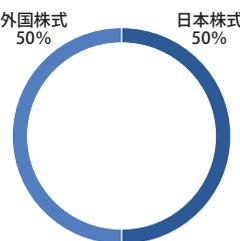


24-27点 成長型

リスクは覚悟の上で、資産を増やすためにワンランク上を目指すあなた。そのチャレンジ精神は立派です。一時的には大きな損失を被ることもありますが、長期的に資産を大きく増やす可能性を有する成長型の資産配分がおすすめです。株式への配分割合を高め、より積極的に成長性を追求する資産配分です。



28-30点 積極型



とにかく値上がりを追求したいあなた。積極果敢、損失覚悟で真っ向勝負を挑む姿は素敵です。相場に体当たりする株式100%積極型の資産配分がおすすめです。資産のすべてを株式に投資するもっとも積極的な資産配分です。

<「自己診断テスト」のご利用にあたっての留意事項>

- 「自己診断テスト」はお客さまのリスク許容度に合わせた資産配分案や投資信託および付随する参考情報を提供するものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。
- 提示する具体的な商品は、ラッセル・インベストメント株式会社が設定・運用する投資信託である「ラッセル・インベストメント・グローバル・バランス 安定型/安定成長型/成長型」(愛称:ライブポイント)の3つのファンドに限定されており、これ以外の当社および他社の投資信託や、さらには投資信託以外の金融商品は提示の対象に含まれていません。
- 「ライブポイント」の3つのファンドの中から、そのお客さまにとって最適と当社が考える1つのファンドを一例としてお示しするものであり、お客さまごとに、その知識・経験、財産の状況、および投資目的は異なることから、すべてのお客さまに当てはまるものではありません。
- 診断結果はお客さまの質問に対する回答を評価・診断して導き出すものですが、絶対的なものではなく、その妥当性、合理性について保証するものではありません。
- 質問項目のほか、提示する資産配分案や投資信託および付随する参考情報は、作成時点のものであり、将来予告なく変更または中止されることがあります。
- 掲載されている情報によって、何らかの損害を被った場合でも、ラッセル・インベストメント株式会社は一切責任を負うものではありません。

投資リスク

ファンドの基準価額は実質的に投資を行っている有価証券等の値動きや為替変動等による影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者のみなさまに帰属します。したがって、ファンドにおいて、投資者のみなさまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。主な変動要因は、株価変動リスク、株式の発行会社の信用リスク、金利変動リスク、債券の発行体の信用リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、流動性リスクです。上記は主なリスクであり、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

その他のご留意いただきたい事項

当資料はラッセル・インベストメント株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その情報の正確性や完全性についてこれを保証するものではありません。当資料の中で掲載されている内容は当資料作成時点でのものであり、将来の投資成果や市況動向等を保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。当ファンドは、預金、保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。金融商品取引業者(従来の証券会社)以外の登録金融機関でご購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。当ファンドの購入のお申込みにあたっては、必ず最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」を販売会社でお受け取りになり、内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

ラッセル・インベストメント・アカデミー

人生100年時代、そして想定外の事態が起きる不確実性の時代、豊かな未来を創るために資産形成はますます重要性を増しています。

「ライフプラン・人生設計編」、「資産運用の知識 基礎編」、「資産運用の知識 実践編」の各コーナーでは、安定的な資産形成を目指すうえで必要と考える資産運用の知識についてご紹介しております。

是非「ラッセル・インベストメント・アカデミー」のサイトにお立ち寄りください。



設定・運用は

ラッセル・インベストメント株式会社

商号:ラッセル・インベストメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第196号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、

一般社団法人日本投資顧問業協会

<ホームページ> <https://russellinvestments.com/jp>

当社の詳しい情報はQRコードを読み取るか、
左記アドレスにアクセスください。

